

ゼロカーボン通信 Vol.6

2021.9月号



発行：葉山町環境課

マイボトルのCO₂削減効果



町は「はやまクリーンプログラム」での取組みの一環で「マイボトル」「マイバッグ」の利用を推進しています。

今回は、実際にマイボトルを使うと、どれぐらいのCO₂削減効果があるのか、検証します。

マイボトルのCO₂削減効果

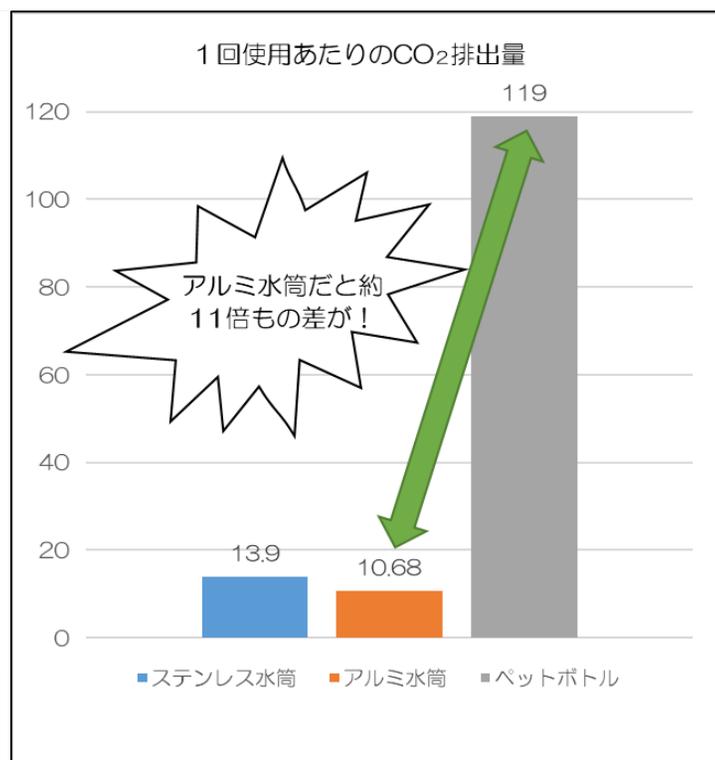
表の条件で環境への影響を比較すると、マイボトルのCO₂排出量はペットボトル使用時の約1/9～1/11になります。

容器の種類	比較条件
ステンレス製水筒 500ml(魔法瓶タイプ)	100回使用後に処分
アルミ製水筒600ml (500mlに換算・比較)	
ペットボトル500ml	1回使用後に処分

出典：環境省「リユース可能な飲料容器およびマイカップ・マイボトルの使用に係る環境負荷分析について」より

日本国民1人あたりのペットボトル消費量は、1日あたりペットボトル500ml1本分^{*1}です。もし葉山町民が1年間ペットボトルの代わりにアルミ製水筒を使い続けると……

約 **1394 t** のCO₂が削減できます！



^{*1}：一般社団法人 全国清涼飲料連合会「全清飲2020活動レポート」より

計算式： $(119g - 10.68g \times 100日 / 365日) \times 32,902人 \times 365日 \div 1,000,000 = 1,393.9...$

クリーンプログラムでのCO₂削減効果

クリーンプログラムの取組みによって、町役場内でのペットボトルごみ排出量は、プログラム開始前の月平均26.6kgから月平均3.9kgと、**約85%**削減されています。これは500mlペットボトル908本分^{*2}にあたり、**約105.4kg/月**のCO₂を削減できています。

^{*2}：空の500mlペットボトル1本25gで計算 計算式： $(119g - 10.68g \times 100日 / 365日) \times 908本 \times \div 1,000 = 105.3952...$

マイボトルやマイバッグだけではなく、お気に入りのモノを長く使うということは、サステナブルなライフスタイルです。今回の比較条件ではマイボトルを100回使用後に廃棄をしています。より長く使える・使いたいモノを選ぶと、さらにCO₂が削減できますね。次回以降はマイバッグを検証します。